

# 中国人が日本観光に求めるもの

● 放 眼 日 中



コラムニスト・アジアソウオッチャー  
須賀 努

すが・つとむ 東京外語大中国語科卒。金融機関で上海留学、台湾2年、香港通算9年、北京同5年の駐在を経験。現在は中国を中心に東南アジアを広くカバーし、コラムの執筆活動に取り組む。

日本に中国人観光客が押し寄せている、という報道が目につく。わずか2年前は「誰も来ない」と言っていたのが、嘘のような変貌ぶりだ。中国政府が尖閣問題で止めたのは団体観光客だが、2013年初めには個人・グループ観光客はかなり戻ってきたため、中国人の日本観光が本物であることを確信していた。

大きな要因は何といつても円安だろう。以前、旅行部門を担当する日本政府の幹部から、「どうやったら中国人観光客を多く誘致できると思いますか?」と聞かれたことがあったが、その時「もし円安になれば何もしなくてもたくさん来るのでは」と即答したのを思い出す。そして事実、彼らはやって来た。

だが中国人が増えた理由はそれだけではない。これまで書いてきたよ

うに、初めて日本に来た中国人の多くは「ごみのない街のきれいさ」や「青い空やきれいな川」に感激する。そして「日本の田舎は、田舎なのになぜこんなにきれいなんだ」とか、「中国とは比べものにならない農村の豊かさ」などにも驚いている。自然環境の他、公共インフラを維持することが観光資源になるのは間違いなので、外国人観光客誘致の一つの方策としても、予算配分をもう少し考えてもらいたい。

さらには、日本語の堪能な中国の友人の言葉がずっと引つ掛かっている。「日本人の丁寧な言葉遣い、それを電話で聞くだけで癒やされるんです」。彼女はちよつとした用事があると、メールでも問い合わせできるようにわざわざ電話を日本に掛けている。筆者が「企業にしても役所に

しても、その電話対応はマニュアル通りで新鮮味がない」と言ってみても、「それでもいいのです。中国ではそんな対応すらないのだから」と意に介しない。「まさに言葉に乾いている、飢えているんです」と強調する。確かに中国の役所では邪険な扱いが横行している。

日本へ行くと、コンビニなどの店員の対応にも感心するらしい。「言葉遣いが良い上に笑顔があるから」というのが理由だ。これこそマニュアル対応で、筆者などには違和感だらけなのだが、「あの笑顔を見るだけでも日本へ行く価値がある」と言い切る人もいる。温泉旅館へ行くのも大好き。その理由も温泉につかるのが気持ち良いとか、料理が素晴らしいなどではなく、「帰る時、車が見えなくなるまで従業員がずっと頭

を下げて見送ってくれるから」だそう。中国でも、高級ホテルではやればできるでしょう」と聞くと、「中国人にはいくら指導しても、ずっと頭を下げ続けさせることは不可能」という。この点に関して、中国人はいくらお金をもらえてもそうはしない、できない人が多いだろうことは想像に難くない。

日本に来る中国人が求めているもの、それは実は日本人との触れ合いかな、と思うこともある。そして外国人である自分に対して、丁寧な対応をしてくれることが心から嬉しいと感じる。日本語のできない中国人は特にそれを望んでいる。マナーの悪い観光客がいるし、政治的な軋轢もあるが、観光誘致を本気で進めるためには日本人がそこに気付ける必要があると思う。